

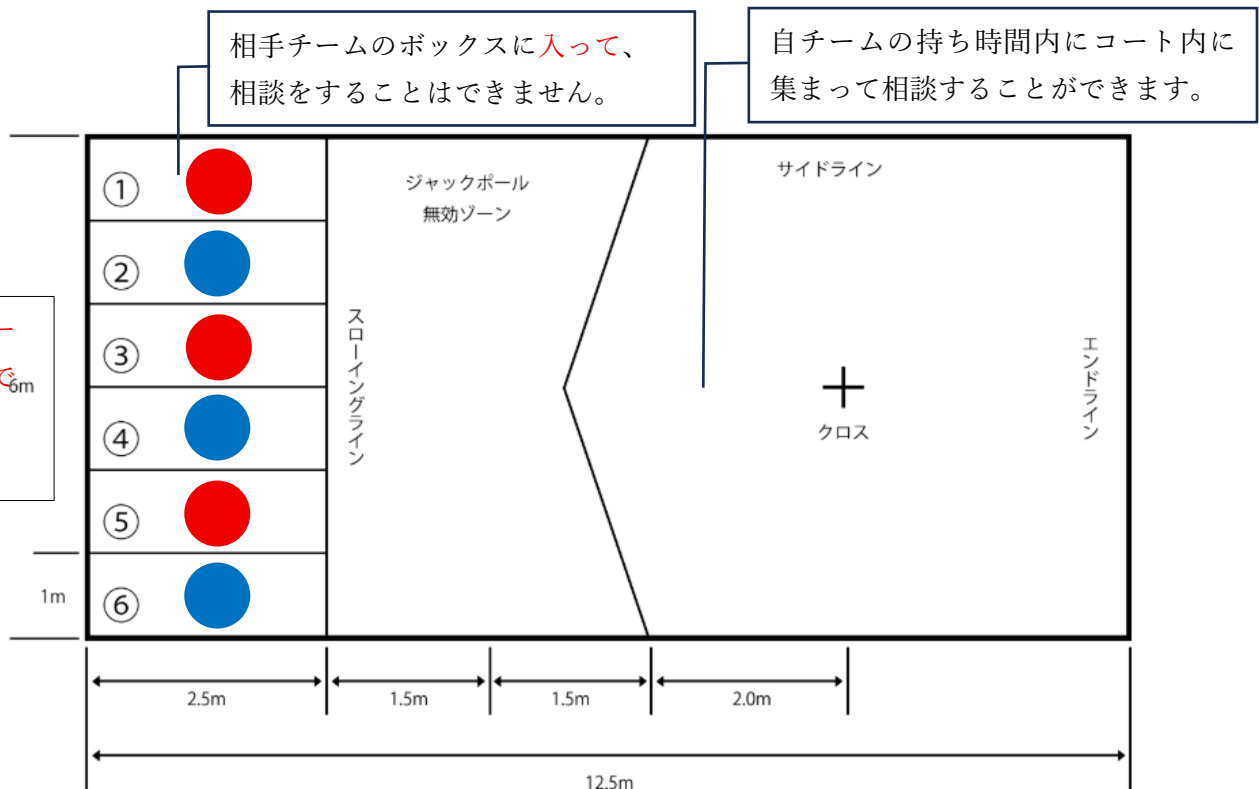
第4回仙台市長杯仙台市ポッチャ大会 決勝大会 競技要領 各区予選会からの変更点・注意事項について【修正版】

(1) コートの大きさ

- ・一般の部 フルコート（12.5m×6m）を用い、スローイングボックスは6つに分けて使用。
- ・小学生の部 ハーフコート（6m×3m）を用い、スローイングボックスは2つに分けて使用。
※予選会から変更なし（予定）

(2) 競技ルールについて（一般の部のみ変更。小学生の部は、変更はありません。）

- 【一般の部】
- ・ファールについて、決勝大会では、予選会同様に、投球者のみ「ラインクロス」の反則を適用しますが、基本的には投球していない選手もラインを踏まないように注意してください。
 - ・持ち時間では、話し合い、コートの状況確認をすることができます。
 - ・持ち時間は、審判が自チームのパドルを示した時点から開始となります。
 - ・持ち時間内での話し合いは、自チームのスローイングボックス内（相手のボックスを通過して一つのボックスに集まることはできません）、集まる場所はコート内でのみ行うことができます。
 - ・相手の持ち時間中は、話し合いをすることはできません。



- ・ジャックボールの投球順序について
チーム内の任意の選手が投げることができます。
- ・ファイナルショットの投球者について
チーム内の任意の選手1名が投球することができます。ただし、ボックスを変更することはできません。

- ・「アウト・オブ・ザ・ウェイ」導入について
投球していないチームは、投球者の視界などに入らないように、スローイングボックス後方に位置してください。
- ・投球後にスローイングランに触れたり、超えた場合はリトラクションとします。
※予選会において危険な投球が見られたため、安全上の理由により、上記ルールを適用します。

(3) 試合方法

『一般の部』

【予選リーグ】

4 チーム×8 リーグによる予選リーグを実施

【決勝トーナメント】

予選リーグ各グループ 1 位・2 位のチームが決勝リーグへ進出となります。

『小学生の部』

【予選リーグ】

3 チーム×3 グループによる予選リーグを実施

【決勝リーグ】

予選リーグ各グループの 1 位のチーム、2 位のチーム、3 位のチームによる、3 チーム×3 グループのリーグ戦を実施

※小学生の部は全チーム決勝リーグへ進出となります。

(4) 順位の決定方法（予選会同様）

各リーグの順位は、以下の順で決定する。

- ① 勝ち数が多いチーム
- ② 同勝数の場合は直接対決で勝ったチーム
- ③ ①②で決まらない場合は、得失点差の多いチーム
- ④ ③で決まらない場合は、総得点の多いチーム
- ⑤ ①～④で決定しない場合は、タイブレイク（ファイナルショット制度）で決定する。

(5) 出場メンバー・介助者について

- ・決勝大会では、各区予選会の出場メンバーでの参加となります。例外として、病気・ケガにより欠場となった場合は、当該選手の変更を認めますが、変更となる選手が、各区予選会、決勝大会共に他チームへ出場していた場合は認められません。
- ・決勝大会当日までメンバーの変更は可能です。
- ・メンバー全員を変更すること（新たなメンバーでの出場）はできません。
- ・以下の場合は、「介助ビブス」が必要となりますので受付で申告し、試合中に着用してください。
 - ◆試合中に障害者や配慮が必要な子どもがいる場合。

介助内容)	①介助の場合は、一緒にコートへ入ってサポートができます。
	②メンバーの中に「選手兼介助者（サポーター）」が要る場合、選手として試合に出ている場合は、介助ビブスの着用は不要となりますが、試合に出ない場合は、介助ビブスの着用が必要となります。